

一般社団法人日本介護支援専門員協会

# 第20回 近畿ブロック研究大会 in 京都

変わる時代、  
常に寄り添うケアマネジャー

web開催

2022  
1.22 sat - 30 sun



主催

一般社団法人  
公益社団法人  
一般社団法人

日本介護支援専門員協会  
京都府介護支援専門員会  
兵庫県介護支援専門員協会  
滋賀県介護支援専門員連絡協議会

特定非営利活動法人  
公益社団法人  
一般社団法人

奈良県介護支援専門員協会  
大阪介護支援専門員協会  
和歌山県介護支援専門員協会

## 第 20 回近畿ブロック研究大会 in 京都

### 大会テーマ

# 「変わる時代、常に寄り添うケアマネジャー」

### 大会趣旨

介護保険制度の創設から 20 年の節目を迎える記念すべき年に、私たちは新型コロナウイルス感染症拡大という、まさに未曾有の厄災とそれに伴う大きな社会変革に向き合わざるを得なくなりました。その渦中であっても、私たち介護支援専門員は、一定の物理的な距離は保ちつつも、様々な苦労や工夫をしながら「寄り添う」ことを諦めない実践を続けてきたのではないのでしょうか。

多くの制限の中での「寄り添う」実践だからこそ得られた「知見」は、私たちの大きな財産となるはずで、時代とともに移りゆく「人」「地域」「社会」を見据え、介護支援専門員として、新しい知見と実践を顧みる機会となるよう、本大会を開催します。

本大会は、今般の新型コロナウイルス感染症の影響が見えない状況であることから安全を考慮し全て Web での開催となります。

### 開催日時

2022 年 1 月 22 日(土)～30 日(日) オンデマンド配信

2022 年 1 月 30 日(日) ライブ配信

\* 詳細は 6 ページの大会タイムスケジュールをご確認ください。

### 主 催

一般社団法人日本介護支援専門員協会

公益社団法人京都府介護支援専門員会

一般社団法人兵庫県介護支援専門員協会

滋賀県介護支援専門員連絡協議会

特定非営利活動法人奈良県介護支援専門員協会

公益社団法人大阪介護支援専門員協会

一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会

## 後援\* 順不同

京都府・京都市・一般社団法人京都府医師会・一般社団法人京都府歯科医師会・一般社団法人京都府薬剤師会・公益社団法人京都府看護協会・公益社団法人京都府栄養士会・一般社団法人京都府理学療法士会・一般社団法人京都府作業療法士会・一般社団法人京都府言語聴覚士会・一般社団法人京都社会福祉士会・一般社団法人京都府介護福祉士会・一般社団法人京都私立病院協会・一般社団法人京都府訪問看護ステーション協議会・一般社団法人京都府介護老人保健施設協会・一般社団法人京都府老人福祉施設協議会・一般社団法人京都市老人福祉施設協議会・社会福祉法人京都府社会福祉協議会・京都府ホームヘルパー連絡協議会・公益社団法人認知症の人と家族の会・一般社団法人京都地域密着型サービス事業所協議会

## 対象・参加費

主催団体会員	一般社団法人日本介護支援専門員協会 会員	5,000円
	公益社団法人京都府介護支援専門員会/一般社団法人兵庫県介護支援専門員協会/滋賀県介護支援専門員連絡協議会/特定非営利活動法人奈良県介護支援専門員協会/公益社団法人大阪介護支援専門員協会/一般社団法人和歌山県介護支援専門員協会 会員	5,000円
主催団体非会員	上記主催団体以外の方	10,000円

## 開催方法

全日程Webでの開催となります。

- \* オンデマンド配信については大会特設サイトにて Web 大会誌、演題発表動画、日本協会活動報告、基調講演、シンポジウムを視聴いただけます。
- \* 最終日のライブ配信についてはオンラインツール「Zoom」を活用した開催・参加となりますので、ご自宅や勤務先でのデバイス(パソコン・タブレット等)からご参加いただけます。

○オンライン参加に関する注意事項

- \* 最終日に使用されるデバイスにオンラインツール「Zoom」をインストールしていただく等、事前準備が必要となります。申し込み完了後に、別途メールにてご案内いたしますので、ご準備をお願いいたします。

たします。

#### ○インターネット環境(有線 LAN ケーブル・Wi-Fi 環境)について

- \* Zoom のビデオ会議は1時間当たり約 800MB の通信容量を消費しますので Wi-Fi 環境下での参加を推奨するとともに、通信環境の安定性確保のため、有線 LAN ケーブルをつないだ状態での参加を強く推奨します。
- \* 通信料は参加者の負担となりますので、ご使用の端末の契約内容をご確認ください。
- \* 通信の不具合で中断する場合がありますので、その際は再度入室してください。
- \* パソコンの推奨環境については以下のとおりですのでご確認ください。

#### ■OS の要件

Windows 10

mac macOS X、macOS10.9 以降

#### ■ブラウザの要件

InternetExplorer 11 以上

Edge 12 以上

GoogleChrome 30 以上

Firefox 27 以上

Safari 7 以上

## お申込みについて

当会ホームページに掲載する参加登録システムよりお申込みをお願いいたします。

参加費のお支払い方法はクレジットカード決済、コンビニ支払い、銀行振込よりお選びいただけます(入金締め切り日は 2022 年 1 月 7 日の予定です)。

お申込み期間 **2021 年 9 月 1 日(水)～2021 年 12 月 24 日(金)**

当会ホームページ URL <http://kyotocm.jp/>

QR コード



## お申込みから参加までの流れ

締め切り日までに参加登録・参加費入金をしていただいた方に、大会特設サイトの URL およびログインパスワードをメール送信いたします(2022年1月中旬を予定しています)。

送付された URL より大会特設サイトへお入りいただき、ログインパスワードを入力いただきますと参加可能となります。

- \* ログインパスワード等の管理の観点から、登録するメールアドレスは個人のを推奨します。
- \* 携帯メールで登録された方はパソコンからのメールが受信できるよう、あらかじめ設定を確認してください。

## Web 大会誌（抄録・講演資料等について）

大会特設サイトに Web 大会誌(抄録・講演資料等)を掲載しますので、各自ダウンロード、もしくはプリントアウトしてください。

- \* 大会誌・資料等郵送はいたしません。

## 個人情報の取り扱いについて

お申込みに際し、ご記入いただく個人情報に関しては、本大会に係る目的以外での利用は行いません。

## オンライン研修受講者利用規定について

- \* 個人ID・ログインパスワードの他人への貸与・譲渡・売買等は厳禁とします。貸与等の不正が発覚した場合は個人IDを削除する場合がありますので、第三者に漏洩しないよう厳重に保管してください。
- \* お申込みされていない方と一緒に画面を視聴することは厳禁とします。
- \* 本大会を通じて提供されるすべての文書、画像、映像、音声等について、著作権等の知的財産権は主催者または発表者に帰属するものであり、映像の録音・撮影・複写・転載することを禁止します。

## 参加費の払い戻し（欠席・キャンセル・中止）

既にお支払いされました参加費の払い戻しはいたしません。ライブ配信当日に欠席・キャンセルの場合も返金いたしません。

## その他注意事項・ご案内

主任介護支援専門員更新研修の受講要件「法定外の研修等」に該当するかは、登録している都道府県または同研修を受諾している団体にご確認ください。

本大会では受講状況の正確な把握が難しいことから、領収書以外に大会参加を証明する書面は発行できませんので、予めご了承ください。



## 大会タイムスケジュール

2022年1月22日(土)～30日(日)

・オンデマンド配信(期間中であれば24時間自由に閲覧できます)

○Web大会誌

大会長挨拶、基調講演資料、記念講演資料、シンポジウム資料、日本協会活動報告  
分科会、抄録、協賛企業・団体一覧、広告等

○演題発表動画〈録画〉

第1分科会:災害支援分野

第2分科会:看取り分野

第3分科会:認知症分野

第4分科会:施設ケアマネジメント(施設系、居住系)分野

第5分科会:教育(主任介護支援専門員の実践)分野

第6分科会:地域包括ケア分野

○日本協会活動報告(調整中)〈録画〉

○基調講演 講師:厚生労働省老健局(調整中)〈録画〉

○シンポジウム「常に寄り添うケアマネジャーの実践」〈録画〉

コーディネーター:花園大学社会福祉学部社会福祉学科 教授 福富 昌城氏

登壇者:海原 義公氏(公益社団法人 大阪介護支援専門員協会 理事)

崎山 賢士氏(一般社団法人 和歌山県介護支援専門員協会 理事)

川添 チエミ氏(公益社団法人 京都府介護支援専門員会 副会長)

最終日 2022年1月30日(日)

・ライブ配信

12:00～ 受付開始

12:55～13:00 ライブ配信アナウンス

13:00～13:05 開会挨拶 一般社団法人日本介護支援専門員協会 会長 柴口里則  
公益社団法人京都府介護支援専門員会 会長 井上基

13:05～14:35 記念講演「地域包括ケアをどう進めるか?—身の丈に合った行動変容を—」  
講師:京都先端科学大学 経済経営学部経済学科 教授 西村周三氏

14:35～14:45 休憩 (広告・協賛企業のご案内)

14:45～15:45 全体会 各座長より分科会報告

15:45～15:55 表彰式 入賞者発表

15:55～16:05 次回開催県のご案内(和歌山県)

16:05～16:10 閉会挨拶 公益社団法人京都府介護支援専門員会 常任理事 村上晶之

\* 予定していた時間が当日の進行状況により前後する場合がございます。予めご了承ください。

### ●第1分科会 災害支援分野 「災害に対するケアマネジャーの役割と連携」

近年、地球規模の気候変動等の天変地異により毎年のように大規模災害が発生し、新型コロナウイルスの蔓延に伴い、複合的な災害が発生している。

ケアマネジャーの力だけでは到底対応できない状況で、多様な支援、地域の力を考慮に入れた支援活動を交えたケアプランの作成と実行が求められる。

日頃より地域包括ケアシステムの深化と地域力の強化により被災者、被災地域の復興が早く進むことを願っている。その一助となる発表を期待したい。

#### 【キーワード】

災害対策基本法、地震、津波、豪雨、風水害、新型コロナウイルス、感染予防、感染対策、複合災害、避難警報、垂直避難、一般避難所、福祉避難所、防災マップ、ハザードマップ、BCP、防災アプリ、多職種協働、地域包括ケアシステム、地域連携、情報共有、地域包括支援センター、ボランティアセンター、支援物資、防災備品、生活困窮、SNS、被災、自立支援、手続き、安否確認、日常生活、非日常生活、日常生活機能、予防、インクルーシブ防災、フェイズフリー、地域防災計画、災害時要援護者避難計画など

### ●第2分科会 看取り分野 「2040年に向け多様化する“最期の選択”に寄り添うケアマネジメント」

超高齢社会となり、今後も、年間の死亡数は増加傾向を示すことが予想され、最も年間死亡数の多い2040年と2015年では約36万人/年の差が推計されている。近年は医療機関での看取りが大部分を占める中、在宅での看取りが微増し、介護保険施設等での看取りも増えてきている。今後多様化する人生に対し、“最期”の選択に介護支援専門員としてどう寄り添い、ケアチームや家族の役割をどうマネジメントしていけばいいのかを、皆さんと学び深めていければと思います。

#### 【キーワード】

ターミナル・緩和ケア時のチームケア、介護施設での看取り、ホスピス(ケア)、グリーフケア、エンドオブライフケア、リビングウイル、ACP(アドバンスケアプランニング)、QOL、ターミナルケアマネジメント加算(特定事業所介護医療連携加算)、「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」、家族の役割など

### ●第3分科会 認知症分野 「2025年問題に備え、共に考える認知症ケアマネジメントとは…」

地域包括ケアシステムでは、「共に住み慣れた地域でその人らしく暮らしていく」等の目標が掲げられています。実際には認知症で1人暮らしの方等は、施設入所を余儀なくされたりします。また同居であっても家族の想いが先行してしまうことがあります。

「成年後見制度」は代弁者である後見人が選任され、概ね上手く行っているのでしょうか。専門職として、病態や環境等を捉えてマネジメントができるよう一緒に考えて行きましょう。

#### 【キーワード】

認知症リハビリテーション、2025年問題までの期間、生活環境の変革、MCI(軽度認知障害)、重複障害、未来と過去の生活史、自分の想いの綴り方、意思決定支援、ピアサポーター、本人ガイドブック、認知症マネジメント、実践されるマネジメント、自律性を考える、20年が経過した成年後見制度など



#### ●第4分科会 施設ケアマネジメント分野 「期待される施設強化と望む暮らしを叶える施設ケアマネジメント」

地域包括ケアシステムの更なる推進には、住み慣れた地域において利用者の尊厳を保持しつつ、必要なサービスが切れ目なく提供される取組と、介護保険施設や高齢者住まいにおける対応の強化等が求められています。本分科会では、施設ケアマネジメントにおける地域や居宅サービスとの連携や感染症や災害に対するリスクマネジメント、その人らしい暮らしの実現に向けての様々な役割について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

##### 【キーワード】

介護保険施設、施設介護支援専門員、在宅復帰、施設での看取り、在宅医療介護連携、サービス付き高齢者向け住宅、状態に応じた多様なサービス、住まいと住まい方、チームアプローチ、利用者本位、施設の感染症対策、地域密着型、家族とのつながり、ICTの活用など

#### ●第5分科会 教育(主任介護支援専門員の実践)分野 「介護支援専門員の人材育成」

地域包括ケアシステム推進の中で、医療職をはじめとする多職種・協働しながら、利用者の尊厳を旨とした自立支援に資するケアマネジメントが実践できる介護支援専門員の養成や地域や事業所におけるスーパーバイズ等を通じた人材育成及び地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくりの実践など、主任介護支援専門員の役割は多岐にわたります。そこで、この分科会では、専門職として役割を果たすことができる介護支援専門員の養成、教育研修の取り組みや人材育成(スーパーバイズ機能強化)について考察を深めます。

##### 【キーワード】

人材育成、スーパーバイズ、スーパービジョン、OJT、同行型実地研修、主任介護支援専門員、適正なケアマネジメント手法、特定事業所加算、地域ケア会議、倫理綱領、コーチング、ティーチング、資質向上、実践的研修など

#### ●第6分科会 地域包括ケア分野 「地域共生社会実現に向けた介護支援専門員の役割とは」

地域包括ケアシステムは地域共生社会実現のための仕組みであると言われ、かつ自助・互助・共助・公助のバランスも重要視されています。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、介護支援専門員の役割も変化しています。

このような「変化の時代」において、われわれはどのような工夫を行いながら、日々の活動を実践しているかについて、以下のキーワードを踏まえ、地域共生社会における介護支援専門員の役割について、一緒に考えたいと思います。

##### 【キーワード】

多職種連携・協働、地域包括支援センター、地域包括ケアシステム、地域ケア会議、地域共生社会、社会資源開発、つながり、寄り添い、居場所、自助・互助・共助・公助、ネットワーク、地域福祉、高齢障害者、生活支援体制整備、生活支援コーディネーター、社会資源開発など

## 一般演題の募集について

本大会では、分科会テーマに沿った研究の口述発表者を募集いたします。発表形式は口述発表のみで Zoom による事前録画方式となります。発表時間は10分とし、大会期間中に掲示板を通じて質疑応答を行います。活発な議論により、研究を深めたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

### 1. 発表申込資格

- 1) 発表者ならびに共同研究者は、日本協会会員、近畿各府県介護支援専門員協(議)会の会員に限ります。
- 2) 発表者ならびに共同研究者は、第20回近畿ブロック研究大会 in 京都への参加申込した者に限ります。
- 3) 共同研究者は5名以下とし、研究発表のどの部分を担当したかを事前に提出していただきます。
  - \* 単にアンケート集計を行った、スライド作成のみに関わっただけでは共同研究者として認めません。
  - \* 研究内容のうち「目的」「方法」「結果」「考察」「結論」の部分でどのように関わったのかを抄録提出時に確認します。
- 4) 日本協会会員、近畿各府県介護支援専門員協(議)会の会員以外で研究に関わられた方は「研究協力者」として記載してください。

### 2. 発表申込期間

2021年9月1日(水)～2021年10月28日(木) \* 採択は2021年11月末頃を予定しています。

### 3. 発表申込方法

参加申込同様に公益社団法人京都府介護支援専門員会ホームページに演題登録システムへのリンクを掲載します。演題登録システムより必要事項を記載の上で登録してください。

- \* ご登録時のメールアドレスに携帯電話のアドレスは利用できませんので、ご注意ください。
- \* フリーメールを使用したご登録は、登録完了後の自動返信メールが届かない可能性がございますので、ご注意ください。

### 4. 発表形式

本大会では口述発表のみとし、Zoomを使用した事前録画方式となります。

発表時間: 10分 質疑応答は掲示板を通じて行います。

発表時間を超過した場合、動画編集の都合により途中までの発表となることがありますのでご注意ください。

### 5. 抄録原稿及び発表データ作成要領

発表テーマ、都道府県、所属先等の名称、職種・職名等、筆頭演者の氏名をレジュメの頭部につけて作成してください。

1) 抄録原稿は原則として、1演題につき A4サイズ2枚までとします(図表を含む場合は4枚まで可)。

#### 2) 書き方

- ・「演題名」は16ポイントの MS 明朝体で、最上段の1行目から2行目の中央部を使用してください。副題がある場合は改行して3行目に記載してください。
- ・「発表者氏名・所属」は11ポイントのMS明朝体で4行目から5行目の中央部を使用してください。
- ・共同研究の場合は、発表者所属の下段に「共同研究者氏名」を9ポイントのMS明朝体で記載してください。
- ・研究協力者は共同研究者の一段下に記載してください。
- ・「本文」は10.5ポイントの MS 明朝体を使用して左揃えにし、2段組みで作成してください。

- ・「目的」「方法」「倫理的配慮」「結果」「考察」「結論」及び「文献」などの見出しを必ずつけてください。
- ・図表及び写真のタイトルは、図・写真が下、表が上で大きさに注意して作成してください。
- ・「目的」は必ず作業仮説(なぜこの研究を行うのか、どのような事例や手段をもちいるのか)を記載、「方法」は内容を具体的に記載して、追試を可能としてください。「結果」では、調査結果を明確にして、多数例では統計的処理を行ってください。「考察」では、この研究のどの部分が、どの程度社会に意義があり、新しい発見なのか、他人の考え(文献)と較べてどこが違うのか、述べてください。
- ・本文中に「スライド番号」を記載しないでください。
- ・本文は「である調」で作成し、謝辞は不要です。
- ・抄録原稿は「Microsoft Office Word2003・2007・2010・2013・2016・2019」のデータ形式で提出してください。
- ・抄録フォーマットを当会ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

### 3) その他の注意事項

- ・発表演題については、府県支部や市町村支部が主催する研究大会を除き、他の学会や研究大会等で発表した演題の発表は認めません。
- ・業務内容を逸脱せず、倫理的に正しい内容にしてください。
- ・発表に使用したデータがプライバシーを侵害する恐れのあるものについては当事者に説明し、発表について了解を得ていることを抄録中に記述してください。この記述がない研究・実践事例発表は、採択されないことがあります。
- ・抄録原稿の記述に際して、個人や地名、団体、学校等の特定につながる記述をしないようにしてください。イニシャルを使用する場合は、実際のイニシャルではなく、A県、B町、Cさんなどと記述してください。この配慮が不十分な発表は採択されないことがあります、また、採択された場合であっても修正を求めます。
- ・発表者が所属する機関の倫理委員会で承認された研究である場合は、その旨を抄録中に記載してください。
- ・査読の結果、変更修正をお願いすることがありますので、ご了承ください。
- ・発表していただく分科会は、テーマ、内容、応募者数により変更させていただく場合があります。また、応募者多数の場合は近畿ブロック介護支援専門員協(議)会会員を優先し、お断りすることもあります。

### 4) 発表データ作成の留意点

- ・スライドの形式は問いませんが、動画や音声、アニメーションの使用は禁止します。
- ・スライドデータはPDF形式で大会事務局へ事前送信してください。
- ・提出したスライドの変更は原則認めません。
- ・スライドデータの枚数は30枚以下に収め、「スライド番号」は記載しないでください。
- ・研究発表にCOI(利益相反)がある場合はスライドに掲載してください。フォーマットは演題登録システムに掲載します。なお、COIスライドはスライドの枚数には含めません。

## 6. 事前録画について

- ・発表はZoomを使つての事前録画となります。発表スライドを画面共有しご自身で操作しながら発表します。
- ・録画は2021年12月中旬を予定しており、会場等の設定は行いませんので、安定して接続できる静かな環境と発表用スライド、発表用パソコン等の準備をお願いいたします。
- ・録画日は複数日設定し、あらかじめ日程調整を行います。
- ・録画は主催者側で行います。演題登録システムに入力いただいたメールアドレスにZoomの招待メールを送信いたします。
- ・録画の取り直しは行いませんので発表は時間厳守をお願いいたします。
- ・録画日に共同研究者もZoomで参加いただきますので、あらかじめご了承ください。



公益社団法人 京都府介護支援専門員会  
マスコットキャラクター 介都くん

大会事務局

公益社団法人 京都府介護支援専門員会

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入ル清水町375 京都府立総合社会福祉会館（ハートピア京都）7階

TEL 075-254-3970 FAX 075-254-3971

MAIL [info@kyotocm.jp](mailto:info@kyotocm.jp)

URL <http://kyotocm.jp/>



京都府介護支援専門員会  
ホームページ